

令和4年度 高知県文化芸術振興ビジョン評価委員会（第1回） 概要メモ

日時：令和4年9月5日（月）14:00～15:30

場所：高知県立高知城歴史博物館（高知市追手筋2丁目7-5）

出席者：＜委員＞

宮田委員長、川鍋委員、谷委員、都築委員、西田委員、吉澤委員、松本委員、
小林委員（オンライン）

＜事務局＞

＜議題＞

（1）高知県文化芸術振興ビジョン行動計画について

＜意見交換＞

委員長	p7で文化部の部活動の地域移行という話があったが、例えば、スポーツの場合は民間の方に指導者をやっていただくということで具体化しているが、文化部の場合はイメージが湧かない。これからのことだと思うが、どういったイメージで考えていけばいいか。
事務局	具体的にはこれからだが、スポーツも含めて国が休日の部活動を、学校から地域の方に移していく方針が示されている。 運動部の部活動と比べると、文化部の場合は休日に活動している部活動が少ない。一方で吹奏楽のように、運動部並みに熱心に休日も活動している実態もある。そういったところに、学校の教員でない方がどういった指導に当たるのか、また、そういった方が地域にいるのかということが課題になってくる。 いずれにしても、各市町村、教育委員会とともに意見を聞きながら進めていかなければならない。
委員	文化部の地域移行は非常に重要なことだと思う。 資料で、市町村への意見聴取やヒアリングや、生徒や保護者に対するアンケートを実施するとあるが、やっても意味がないのでは。学校の教員に望むことが回答にあっても、今の動向に対する反対意見が多くなっては仕方ない。 人を探す等ができる団体を見つけることに力を入れていく方がいいのでは。 他の地域では、公立文化施設が重要な役割を果たしている。例えば、

	<p>公立の文化施設、県立のホールのような所が中心となり、高校をまたいだ演劇部やダンス部をつくったりというような役割を担っている。今は公立文化施設がそういう役割を担わなければならないという流れにもなっており、人材の育成やアンケートを取ることもいいが、やれることをやっていくという方向性の方がいいと思う。</p> <p>NPO等でそういう活動を行っている方もいると思うので、そういう方を探すことにシフトしていく方がいいのではないか。</p>
事務局	<p>どういった方に部活動への指導支援をお願いできるのかが取り組みの肝だと思う。</p> <p>これは高校ではなく公立中学校の取り組みであり、地域でどういった取り組みがなされているのかということや、どういった方がいるのか実態を調べていくとともに、ご協力いただけるよう依頼もしていく。子ども達がどういった希望を持っているのかということも含め、内外ともに丁寧に意見を聞き進めていく必要があり、その上で地域の方の協力は欠かせないと考えている。</p>
委員	<p>言い方が悪かったが、高校ではなく中学校でも同じだと思う。地域の文化施設が大きな担い手になっていくはずであり、その役割を求められているということを、市町村の文化施設で考えているところもあると思うので、上手に連携をとっていただきたい。その中で自治体の文化施設の役割を今一度考えてほしいと思う。</p>
委員	<p>美術の立場で発言させていただくが、中学校の美術の教員が少ない現状。高知市内であれば多いが、郡部にいくと音楽の先生が美術の先生を兼任している。逆はない。美術は音楽の先生が兼任できる科目だと思われていることが非常に問題だと思う。高校に入ると美術の専科の先生はいるが、中学校はあまりいない。部活動以前に学校の授業が成り立っていない状況がある。これを解決する方法とは違うが、奈半利町の例でいうと、古民家アートという地域で芸術祭のミニ版のようなものを行っているが、その中のワークショップとして、奈半利町の中学校に、若手のアーティストが出かけていき、出前授業のようなものを行い、生徒の作品と一緒に展示するというをやっている。小学校にも出かけている。</p> <p>その時のみなので継続性はないが、やらないよりはましだと思う。</p> <p>部活動にも、若手のアーティストの方に賃金を支払い、活動として美</p>

	<p>術を志す生徒にも手当てができればいいと思う。</p>
委員	<p>県内には美術作家の先生等がたくさんいらっしゃって、色々な文化教室で活躍されている。学校の先生の代わりが十分にできる美術の作家もいるので、報酬はいると思うが、うまくローテーションを組む等、やり方を具体的に議論いただければ違った形も出てくるのではないかな。</p>
事務局	<p>地域でそういった取り組みが広がっていくことが重要だと思う。高知市内だけでなく、特に郡部において住民、ボランティアの方々の協力を得られるよう、市町村の教育委員会とも話をしていき、県としても関与しながら取り組みを進めていきたい。</p>
委員	<p>働き方改革の中で、中学校の部活動の地域移行という動きが出てきており、取り組みが始まったと報告を聞いた。その関連になるかもしれない、資料 p31 に総合文化祭の開催が出ているが、この中の令和4年度の取り組みとして、下部に「県立学校 21 校 37 部にのべ 36 名の文化芸術活動支援員を配置」とあり、これは画期的な取り組みだと思う。取り組みには予算が伴う。代価を支払い、責任をもってもらい、生徒と関わってもらうということが重要であり、支援員を配置していることは非常にいいことだと思う。</p> <p>地域の方々とともに文化芸術活動に取り組むという体制をつくるのが目玉では。</p> <p>これはいつからしているのか、予算はどうなっているのか、今後どうということが考えられるか。課題として、「指導できる人材が見つからず、指導員の配置希望があってもそれに添えない現状がある」とあり、各学校に配置することは難しいと思う。今後の工夫等発展していただかないといけない内容なので、課題も含めて整理していただきたい。</p>
事務局	<p>このことについては教育委員会が担当しており、今は手元に数字がないため具体的なことはお話ができないが、おそらく始まって3、4年目ではないかと思う。</p> <p>支援員は36名ということで、これは県立の高校全体の数だが、まだまだたくさん広がっているわけではないのが実情。先ほども話にあったが、まずは中学校の休日を教員以外の方に移していこうという動きが中学校の方で始まっている。外部の方々の手を借りるような取り組みが広</p>

	<p>まることが必要。また、ソーシャル的に課題となるのが、指導できる人材が見つからず、希望があってもそれに応えられない現状。これは指摘にもあったが、予算が伴う。国の方でも予算をより多く確保しようという動きがあるので、我々県としても、国の補助事業を活用しながらこの取り組みを広げていきたい。</p>
委員	<p>生徒にとっても学校の教員だけでなく、広く多くの方々と接し、指導を仰ぐ機会が中学校、高校にとって重要だと思う。是非進めてほしい。</p>
事務局	<p>委員から指摘のあった、学校の教員が必ずしも専門性があるわけではないという実例があるため、民間の専門性のある方々に指導いただくことは、子ども達にとってもためになると思う。</p>
委員	<p>委員がおっしゃったように、学校の教育の現場でアーティストや実際に活動されてる若い方と関わりを持つことは重要。</p> <p>出前事業などの短期的な関わりよりは、年間を通じて学校の現場にユニークな先生がいる環境は生徒にとって良い影響を与えるのでは。</p> <p>地域では児童数が減り、空き教室があると思うが、若いアーティストが活動できる場を提供する方が、授業を依頼するより可能性があると思う。</p>
委員	<p>制作場所を探しているアーティストは、知っているだけでも3名はいる。作品は自宅では作れないため、空き教室の活用等により、良い状況が生まれ、さらに中学校の部活動を地域に移行することにも繋がるのではと思う。</p>
委員	<p>スピリットアート展の作品数が減っている理由はなぜか。</p>
委員	<p>福祉施設の職員の美術館に来る時間帯が集中しており、密を避けるために応募作品数が一人5作品だったのが3作品となった。また、応募作品数が増えていたため、調整するために一人あたりの応募数を減らしたことも原因。</p> <p>また、入場者数については、高知県展とともに毎年開催していたが、県立美術館、かるぽーとの改修が重なり、ともに開催できなくなったため、来場者への誘致が難しい状況だった。</p>
委員長	<p>文化部の部活動に話題が集中しているが、他の意見はないか。</p>
委員	<p>牧野植物園が最近変わってきている。写真を撮るスポット等を工夫している。今後、植物をお世話している側でないと分からないような面白さを伝えるような工夫をしていくと良くなっていくのではと思う。</p>

	<p>県史編さん事業は県民の関心を高めながら活動してほしい。最初に講演会があったが、成果や発見が出た時に具体的な形で関心を起こし、県民の方々に資料の提供をいただくなど、良い循環を持っていけたら良いと思う。</p> <p>県史の編さんやその課題を歴史民俗資料館などが主体となり、取り組みを行ってほしい。</p>
事務局	<p>県史編さんの関係で県民の方々への情報発信、学ぶ機会として、7月23日、24日に民俗部会で、「漁業」をテーマに中土佐町と、南国市の歴史民俗資料館で講演会を開催した。こういった取り組みは、各部会で継続させたい。</p> <p>今月、近世近代の資料について調査をするため、地域に入らせていただく予定。「とさぶし」での広報に加え、第一期の成果をまとめたものを、県民の方々に分かりやすく示したいと思う。そこに向けて各部会の先生方に取り組みをお願いしているところ。</p>
事務局	<p>補足させていただくが、県史編さん事業は長期間にわたることが見込まれており、20年間はかかると言われている。その間に動きが見えないと、県民の方々の関心も下がるため、5年ごとに期間を区切り、成果の中間発表を行うということを考えている。</p> <p>課程ごとに明らかになったことを、県民の方々に分かりやすくタイミング良く広報を行うことは重要だと考えており、もの（資料）によっては、歴史民俗資料館や、高知城歴史博物館などで展示できるのではないかと思う。</p>
委員	<p>地味な作業だが、県民に関心を持っていただけるように取り組んでいただきたい。</p>
委員	<p>20年は非常に長丁場だが、人材を確保、供給するためにも広く知っていただく必要があり、そのためには、高知新聞やRKC高知放送等で、県史編さんの特集等を取り上げていただけると注目度も上がると思う。</p> <p>別の話をするが、高知城は他の施設と比べてもバリアフリーが非常に弱い。難しい部分もあると思うが、これから先の観光や、歴史を保存していくということも含めて、検討してほしい。</p> <p>また、牧野植物園を取り上げる際は、パビリオンを創るのではなく、牧野先生が実際にここでこのようなことをした等の説明板等、事実を</p>

	<p>取り上げてほしい。関連施設がひと目で分かるスタンプラリーのような、繋げて観光ができる形をとってほしい。五台山の竹林寺や、木造展望台等とのコンビネーションも重要。</p> <p>直接関係はない話だが、五台山展望台周辺のうっそうとした木々を切っしてほしい。</p> <p>それを含めて、「本物」の牧野や施設を知らしめるとともに、いろいろな牧野植物園や五台山を絡めて連携して進めてほしい。</p>
事務局	<p>来年からの「らんまん」放送に向けてどのような見せ方をしていくか考えているところだと思うので、ご意見を関係者の方々に共有させていただく。</p> <p>出身地の佐川町など色々な所との連携やリレーションということは重要だと思う。我々が所管している坂本龍馬記念館も同じだが、牧野先生の関連施設、高知県の歴史系観光施設で連携の仕掛けを考えていきたいと思っている。</p> <p>また、五台山の景観について、民地の木を切るのは難しいところだが、各観光地の磨き上げは課題となっており、例えば横波スカイラインでは展望が開けるよう、木の伐採を行ったと聞いている。らんまんの博覧会に多くの方に来ていただけるように、観光地の磨き上げに取り組むため、関係者に情報共有を行いたい。</p> <p>高知城のバリアフリーについて事務局から説明する。</p>
事務局	<p>歴史文化財課で高知城を所管している。高知城は元々防御の施設ということで、人が上りにくく創られている。明治以降多くの方に解放されて今は観光施設となっているが、文化財として本来持つ価値というものを知っていただきつつ、多くの方に安全に見ていただくという視点も今日では欠かせないと考えている。多言語化などのバリアフリーは一定進んでいるが、体の不自由な方に対しては、道の舗装ができていなかったりするため、こういったところを安全にできる方法も含めて、障害者支援をされている NPO の方々とも意見交換を行っているため、一つずつ実現できる場所を見つけていきたい。</p>
委員	<p>高知城について、以前、ある大学の専門の先生が高知県で講演を行った際に「お城は一流、管理は三流」とおっしゃっていた。「見る人の方を向いて展示していない、資料を駄目にするために展示してあるとしか思えない」というような厳しい意見を聞いた。バリアフリーも重要</p>

	<p>だが、来られる方への配慮が行き届いた城の管理、展示をお願いしたい。</p>
事務局	<p>少しでも改善できるよう関係者と協議を行っていく。</p>
委員	<p>バリアフリーについてだが、今までは推奨だったが、これからは「合理的配慮」が義務化されているため、設備を整えなくても、要望があった際に人的努力など何か行わないと、法律に違反してしまうことになる。そのあたりを早急にどうやって解決していくかを考える必要がある。</p> <p>牧野植物園については、バリアフリー等、来園者の目線を大切にしていると書かれているため、その際に当事者の意見を多く拾っていただきたい。園地の管理だけではなく、イベントの際にも、障害のある方や、色々な方が参加できる工夫を行ってほしい。</p> <p>牧野植物園は朝ドラで来園者が増えると思うが、五台山には竹林寺があり、四国霊場の一つにもなっているため、遍路道や、四国遍路の日本遺産の周知を上げるなど、一つの事業で考えるのではなく、連携させてほしい。そうすることで、五台山や竹林寺に足を運んでくださる方も増え、世界遺産への登録にも近づくのではと思う。</p>
事務局	<p>障害をお持ちの方への合理的な配慮は必然、必須だと思う。改めて検討していきたい。竹林寺と牧野植物園の連携についても、現在取り組んでいるところだが、放送開始に向けて一体で盛り上げられるよう、さらに取り組みを進めていきたい。</p>
委員	<p>県の芸術祭について、一律 30 万円で助成を受ける助成事業がある。これは報告だが、市町村に働きかけて参加いただき、事業が拡大発展をして助成を卒業するという例がある。知っている中で二つあり、奈半利町の古民家アート&ライブ、土佐山田のアートリンクという事業。助成事業が一種の種まきのような形で地方の芸術活動の役に立っていることは非常に有り難いこと。</p>
事務局	<p>助成を何回も受けている団体もあるが、これは活動を継続させているという面では評価できるが、卒業して独り立ちすることが最終目標だと考えているため、そういった取り組みが一つでも増えてほしいと考えている。</p>
委員	<p>芸術祭のメインイベントである中四国文化の集いについて、地域の文化団体に活動の場を提供し、活動を支援するものだと思うが、前期 5</p>

	<p>年の課題に、「派遣に要する経費が参加者負担となっており」と記載がある。これは民間団体主体の文化芸術活動の支援とは真逆の方向性だと思う。p20の民俗芸能の保存活用の支援にもあるとおり、課題として金銭面を挙げられているにも関わらず、高知県芸術祭のメインイベントに参加する費用が参加者負担というのはどういう状況なのか。あつてはならないことだと思うが。</p>
事務局	<p>資料(p21)の表現が良くないところがあり、お詫びする。「前期5年の課題」の派遣に要する費用が参加者負担となっているという部分だが、バス代などは県が出しており、少しずつ改善をしているという内容に資料を修正しなければならなかったところ。これまで、費用負担が十分でないことは派遣団体からも声が挙がっていたため、今年度は、衣装のクリーニング代を負担するなど、派遣に要する費用の軽減を予算の範囲内でできることをしている。</p>
委員	<p>よさこい祭りでも、場所は提供するが、よさこいチームが参加料を払うなど自己負担で参加を促されたという話を聞いたことがあるが、高知県の文化芸術を発信していくのに、出演料が無いことが当たり前ということは良くないと思う。地域の小さな伝統芸能を伝えていく際も、生活の中で時間を割いて行われていることなので、負担のないよう出演料はお支払いすべきではないか。来年度以降予算を考える際に、そういったことも含めて考えていただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見を十分に受け止めさせていただく。県としても、KAP事業などの助成事業が今の制度としてあり、こういった制度も活用していただき、負担の軽減に努めたい。</p>
委員	<p>ビジョンを作成した際にもお願いしたことだが、文化芸術を活用した地域振興の中に入ってくるかと思うが、人材育成について、市町村等の文化行政担当者の育成を行ってほしい。高知県では、文化行政担当者に研修会や、課題解決のためのゼミナール等は行っているのか。また、それぞれの市町村の文化行政や文化に関わる取り組み状況の調査を県が毎年行っているのかお聞きしたい。</p> <p>というのも、県史編さんのところで、高知城歴史博物館等が中心となり、地域学芸員養成講座を行っていると思うが、この取り組みはとても貴重だと考えている。こういったことを以前から行っているのだからこれからも協力していただけるのだと思う。</p>

	<p>また、高知県では県内のミュージアムがネットワークを組んでいるということが、全国的に評価されている。文化行政の担当者も、専門家の方々が行っているようなことを見習ってほしい。とりわけ行政の担当者は変わるので、マメに取り組みを行わないと県がやりたいこともできなくなってくるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>委員からは前回の委員会でも指摘を頂いているところであり、恐縮している。歴史文化財課では市町村と連携して取り組みを行っている。当課としても、文化芸術に関しては、市町村に情報提供等を行っているが、双方向でやりとりできるほどの関係ではない。今回、昨年度まで教育委員会にあった文化財課を知事部局に移管したことで、市町村に対する連携強化を図れないかと内部で検討しており、取り組みを進められるように努力する。</p> <p>また、高知県ミュージアムネットワークについては、県外からも評価をいただいております、11月には全国博物館協会の全国大会が高知県で開催される。文化庁、博物館協会、全国の関係者に、このようなミュージアムネットワークという形で、施設の学芸員の方が地域と連携した取り組みを行っていることを紹介したい。特に、高知城歴史博物館は学校資料調査や人材育成に率先して取り組んでいるなど、高い評価を得ている。今後も地域の方との連携について広げていきたい。</p>
委員	<p>ミュージアムネットワークや、高知城歴史博物館の事例は私も「新しいミュージアム」という本で紹介しているので是非見てほしい。</p> <p>文化行政については私も講師役などで協力できると思う。文化行政の課題はいろいろあると思うので、市町村の方で取り組めない理由がある時などは、相談していただきたい。</p>
委員	<p>歴史文化財だけでなく、文化の方も施設の学芸員が出前講座などで地域に入り、文化芸術を地域に提供している。</p> <p>それ以上に活躍しているのは県民文化ホール。地域のホールへの美術、音響、照明等の技術面の指導や、イベントの紹介等も行っているので一つの力になっていると思う。</p>
委員	<p>旧陸軍跡地の活用についての項目がp14にあり、今後の予定として、「地域住民との合意形成を図るため、説明会を開催する」とあるが、どのような説明会を行うのか。</p>
事務局	<p>この施設は10年余り活用されていない。元々役所が使用する施設であ</p>

	<p>るため、地域の歴史を学んでいただくためにも、改修が必要になる。その際の工事等の騒音、交通安全や、バリアフリー対応等の関係について説明したい。</p>
委員	<p>今後の施設の活用であったり、説明会というよりは、行政と住民とが一緒に考えるようなワークショップ形式を行うなど、地域のコミュニティデザインを考え、地域の方や、県政が望む施設にしてほしい。すぐという話ではないと思うので、時間をかけて良い施設にしていきたい。</p>
事務局	<p>参考にさせていただきたい。</p>
委員	<p>先ほど山の木を切るという話をしたが、岡豊城や、朝倉城などの城跡について、特にお願いしたいのは浦戸城だが、各城の景観が全く分からない。</p> <p>大分県のホームページに、「民間資源再生事業」というものがあるが、それは景観を資源とみて、再生するという形で取り組んでいる。高知県にも多くの城跡があり、例えば浦戸城は木がうっそうとして何も見えないので、当時のことが想像できるような場所にしてほしい。偽物の天守をつくる必要はなく、当時の山、天守の景観等を復活させていただきたい。他県の事例もあるので、今後取り組みに入れていただきたい。</p>
事務局	<p>それぞれ所管があるので、相談していきたい。</p>
委員	<p>来年は牧野富太郎の関係でPRしていく年だと思う。今年のゴールデンウィークに県外から私の知り合いが来た際に、牧野植物園に連れて行ったところ大変感激してくれたが、牧野富太郎のことは知らなかった。これが実態だと思う。牧野氏の業績をきちんと把握したうえでPRをする必要がある。単なるブームで終わってしまうような上っ面だけの観光にしてはいけないので、このことを念頭に置きながら県内外の人にPRしてほしい。</p>
委員	<p>その他の内容になるが、ビジョンの改訂版のレイアウトを工夫した方が良いのではないかと。初回がこういったスタイルだったのでそれを通したと思うが、一方でとさぶしはレイアウトを工夫しているので、今までの成果や、事業、文化財の写真をちりばめながら編集すると、見やすく、人が手に取って関心を高められるものになるのではと思う。内容はとても良いので、これまでの成果も含めて、次回の発行の際に</p>

	は編集に留意いただきたい。
事務局	留意して次回に繋げるために検討していきたい。
	以上